

「金沢大学重点戦略経費政策課題対応型研究推進セミナー」を開催

2011年8月2日

8月2日(火)にがん進展制御研究所棟4階 会議室において、北海道大学遺伝子病制御研究所 藤田 恭之教授を迎え、「正常上皮細胞と変異細胞の相互作用-新規癌治療法の開発を目指して」と題して、金沢大学重点戦略経費政策課題対応型研究推進セミナーを開催しました。

セミナーでは、藤田先生ご自身の最新の研究成果を示されながら、がん領域における細胞競合の機構と治療標的としての可能性について大変興味深いご講演を頂きました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約40名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



金沢大学重点戦略経費
政策課題対応型研究推進セミナー

**正常上皮細胞と変異細胞の相互作用
-新規癌治療法の開発を目指して-**

講演者

北海道大学遺伝子病制御研究所・教授
藤田恭之 先生

日時：平成23年8月2日（火） 17：00～

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

藤田先生は、それまでショウジョウバエなどでしか報告の無かった正常細胞とトランスフォーム細胞間の競合関係（細胞競合）が、ほ乳類上皮細胞でも成り立つことを見出され、癌治療への応用を目指されています。本セミナーでは、この新しい研究領域の将来展望についてお話しいただくとともに、英国MRC Laboratory for Molecular Cell Biology, UCLにおいてラボヘッドを長く勤めた経験をもつ彼に、今日の本邦の科学政策がどう見えるか、というお話も伺えることを期待しております。奮ってご参加下さい。

参考文献 Hogan et al., *Nature Cell Biology*, 11 (4): 460-467, 2009;
Kajita et al., *Journal of Cell Science*, 123 (Pt2): 171-80, 2010; Tamori et al., *PLoS Biology*, 8 (7): e10000422, 2010.

連絡先：薬学・がん研支援課研究協力係 内線(6702)